

「茂原市学校再編基本計画（案）」に対するパブリックコメント（意見募集）の結果について

- ・意見の募集期間 平成 29 年 1 月 27 日(金)～2 月 27 日(月)
- ・意見の受付人数及び件数 5 人 23 件（直接持参 2 人、電子メール 3 人）
- ・ご意見の趣旨とそれに対する市の考え方

※いただいたご意見については、個人の特定につながる情報を除き、原則として原文のまま掲載しております。

番号	いただいたご意見	市の考え方
学校再編を望む意見		
1	児童・生徒の通学路の安全確保と通学バスの活用も慎重に検討された具体的な取り組みに期待します。	学校再編計画審議会での議論や保護者アンケートから、通学に関することは保護者や子どもたちにとって最重要事項だと認識しておりますので、p14（3）にあるように、通学手段の確保や通学路の整備を行っていきます。 また、平成 29 年 4 月以降、具体的な実施計画を策定していきます。
2	新治小がなくなるとますます新治の人口が減ると言っている方もいますが、それは違うと思います。支援センターで出会うママ達は、これから通う予定の小学校を選んで家を建てようとしています。お友だちがたくさんできそうな学校を選んでいきます。全校 43 人の極小規模の新治小学区にわざわざ家を建てようとする人はいないのです。むしろそれを心配して新治の人が学区を出ているのです。知っていただきたいです。	当事者の貴重なご意見として承ります。
3	課題や問題がたくさんあるかとは思いますが、学校再編計画が早急に進むことを願っています。こどもにもっとたくさんの友達と経験と刺激を与えてほしいと思っています。	当事者の貴重なご意見として承ります。
4	自分の子供が早野中にお世話になる予定です。小学校は目が届きやすい少人数はメリットがあると考えていますが、中学校は部活動の選択肢が少ないなど気がかりでした。同時に一小一中の問題も気になる場所でした。今回、問題が明文化されたことにより、きちんと考えられていくことが期待できました。耐震工事など施工されたばかりかもしれませんが、批判の意見を怖がらずに、標準の適正学級に向けて近隣中学校との統合など考えていただきたいと思いました。	教育委員会としては、この基本方針や方向性に沿って具体的な実施計画を策定し、学校再編を進めていきたいと考えております。

番号	いただいたご意見	市の考え方
学校再編の進め方についての意見		
5	<p>茂原市の各小・中学校の設立以来現在状況までの実態についての確にまとめた資料ができています。</p> <p>教育行政の主務官庁である文部科学省の持つ情報・知見により作成の方針（指針）を超えた、地域特性を生かした方策の展開は財政状況の厳しい一地方公共団体・茂原市での可能性は極めて低い。</p> <p>文部科学省の言う学校規模（1学年〇〇クラス）のレベルを守るような再編成をする。</p>	<p>学校再編については、基本計画 p15 の「学校規模ごとの基本的な方向性」に沿って進めていきたいと考えております。</p>
6	<p>統廃合をするにあたっては、中学校区から考えていただきたいです。それによって、小学校をどうまとめていくか考えてほしいです。</p> <p>新治小の場合、本納中が残るのか残らないかでかなり違ってきます。本納中学校も統合か学区編成をしない限り維持が難しいと思います。本納中を残すのであれば、人数確保のため豊田小からも来てもらうなどが必要ではないでしょうか。もしくは本納地区を一貫校にするかでしょうか。本納中学区を解体するのも仕方ないと思っています。新治小は富士見中、豊岡小は東中、本納小はどちらかになると思います。</p>	<p>今後、実施計画を策定するにあたり参考にさせていただきます。</p>
7	<p>「はじめに」13行目 手引きは行政指導のはず。強要される必要はない。</p>	<p>本計画は、強要されて作ったのではなく、本市でも学校再編について検討する必要があると判断し策定したものです。</p>
8	<p>p4の表 茂原小だけが減少率が小さいが、全体的には4分の3になってしまう。ここを分割すれば周辺の学校はつぶれなく済むのでは？</p>	<p>学校をつぶさないためではなく、子どもたちの教育環境を整えるためにどうすべきかという視点で、今後実施計画を策定していきます。</p>
9	<p>p8 いっそのこと茂原中を分割したら？距離を考えればすぐにできるはず。</p>	<p>子どもたちの教育環境を整えるためにどうすべきかという視点で、今後実施計画を策定していきます。</p>
10	<p>p12の表 メリットデメリットは国の考え方であって、日本全体から見た場合のものであるはず。茂原市の小中学校がすべて当てはまるとは限らないのでは？もっと茂原市としてのメリットデメリットをもとに判断すべきではないのか。</p>	<p>茂原市の立地や交通網などの条件を鑑みると、本市において特段考慮すべき事情はなく、茂原市学校再編計画審議会において意見交換したところ、文部科学省が示したメリット・デメリットは、ほぼそのまま当てはまると考えます。</p>

番号	いただいたご意見	市の考え方
11	<p>p13（2）</p> <p>再編にあたっての配慮の中で、地域コミュニティや避難所についての配慮とあり、非常にありがたい。特に希望したいのが、自治会毎に学校区をまとめてもらいたいことである。現在は1自治会でも複数の学校区があり、回覧板にしても複数の学校のお知らせが来たり、青少年育成会議にしても複数の総会への出席、寄付金の持参など。これが解消されると、指定避難所も自治会毎に分けられているのでわかりやすくなるし、地区社会福祉協議会までもよりよくなってくる。</p>	<p>当事者の貴重なご意見として承ります。今後、実施計画を策定するにあたり参考にさせていただきます。</p>
地域住民への周知についての意見		
12	<p>昭和27年茂原市制定後旧茂原町地区以外での学校の分割・通学区域変更は実施されていないことから地域住民の理解活動は大事となる。</p>	<p>p13（2）にあるように、再編に関する情報の発信、提供は重要だと認識しておりますので、住民説明会の実施、広報やホームページでの周知など、情報の積極的な発信に努めます。</p>
13	<p>新治地区のこどもの保護者です。統廃合を積極的に進めていただきたいという意見です。</p> <p>新治小学校は複式なので早急に統廃合を進める学校の位置付けになっています。いつ統廃合されるのか、どこに統廃合されるのか、早い段階でお知らせしてほしいです。</p>	<p>どの学校とどの学校をいつ統廃合するという具体的な内容は、平成29年度に策定する実施計画において、地域の方の意見を聞きながら定めていきます。</p> <p>周知につきましては随時行うこととし、早め早めの対応に努めていきます。</p>
14	<p>この学校再編計画ですが、小学校にはアンケートがありました。幼稚園や保育所にはなかったようです。むしろこれから学校に上がる人たちが知っておかなければいけないことかと思いますが、支援センターなどで話題にしても知らないママがとても多いです。幼稚園、保育所、福祉センター、支援センターなどでもっと周知すべきだと思いました。</p>	<p>今回実施した保護者アンケートについては、意見の方向性を把握することや集計の迅速化を主眼に置き、小中学生の保護者に限定して行いました。今後、幼稚園や保育所などにも周知するよう努めます。</p>

番号	いただいたご意見	市の考え方
小中一貫教育についての意見		
15	<p>緑ヶ丘小学校と西陵中学校を統合し9年制の公立学校とし、1年生から4年生までを低学年と位置づける。5年生から9年生までを高学年と位置づけ、特色ある学校を目指す。具体的には、低学年では国語と算数及び自然体験型の理科に重点を置く。高学年では習熟度別クラス分けとし英語も重視し、市内の学習塾講師を活用する。近い将来、県立千葉高や千葉東高などに通う子供たちの地区になっていくであろう。</p> <p>教育に関心が高い地区と評判が広がり、他市町村から30代の夫婦が当地区に住居を購入して圏央道を利用した通勤が増え、住民税の税収も増えると考えられる。</p> <p>緑ヶ丘小学校と西陵中学校のどちらの校舎をメインにするかは、体育館や武道場の必要性や必要な規模などから総合的に判断して決めればよい。</p>	<p>西陵中学校区につきましては、平成23年度から富士見中学校区との学校選択制を導入しており、平成29年度の西陵中・緑ヶ丘小の状況により平成32年に富士見中学校に統合するか教育委員会が判断する旨をすでに決定しており、住民の皆さまにも周知しているところです。</p> <p>9年制の公立学校についての提案は、今後、小中一貫教育を検討するうえで参考にさせていただきます。</p>
16	<p>小中一貫教育も検討するとありますが、その場合は全市学区にするなど選択肢が地区で縛られないようにしていただきたいと思います。例えば、五郷地区のこどもがモデルケースになるのは反対です。</p>	<p>小中一貫教育については、メリットデメリットを含めこれから導入の可能性を調査します。</p>
17	<p>p14(2)</p> <p>自分の小学校時代の感想で恐縮だが、小学校5年生のときに、「まだこの学校にいないかならぬのか」という辟易した思いがあったし、小中一貫は小学1年生と中学3年生ではあまりに成長の差がありすぎ。</p>	<p>小中一貫教育については、メリットデメリットを含めこれから導入の可能性を調査します。</p>

番号	いただいたご意見	市の考え方
その他の意見		
18	<p>「はじめに」 8行目 過度の小規模化は望ましいものではないというが、島しょに住んでいる子供たちは、国家及び社会の形成者として必要とされる資質としては見えていないのか。</p>	<p>立地条件などでやむを得ず小規模化することはありますが、可能な限り解消すべきであると考えます。</p>
19	<p>目次、p20、p49 パブリックコメント（の概要）を載せる必要はない。</p>	<p>本計画を策定するにあたり参考にしたものとして、掲載いたします。</p>
20	<p>p1 2040年までの推計でその計画を維持していけるのか。</p>	<p>p2に記載したとおり、第1次実施計画終了前に、人口や児童生徒数の推計見直しを行い、必要に応じて基本計画の見直しを行います。</p>
21	<p>p10 基本方針1 社会を生き抜く力とは学校という社会でも生き抜く力を育成すべきで、具体的にはいじめに耐える力・胆力をはぐくむ必要があるのでは？ 過保護は社会へ出ても生き抜けないのでは？</p>	<p>ご意見として承ります。 なお、いじめについては、p10の基本方針2（1）にも記載していますが、耐えるのではなく未然防止や早期発見に努め、根絶を目指し取り組みます。</p>
22	<p>p14（3） スクールバスによる運動不足が肥満を助長させるが、そのデメリットを承知の上でも遠距離通学させるのか。</p>	<p>通学距離や通学時間があまりに長くなる場合は、スクールバスなどの導入は必須だと考えております。地域の方の意見も聞きながら検討していきます。</p>
23	<p>p23～43 の下の表 大規模改造というのはあまり言わないと思うのだが。</p>	<p>大規模改造とは、一定の年数が経過することにより通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や、建物の用途変更に伴う改装等を指すものです。ややわかりづらいかもしれませんが、現在文部科学省や市で使っているこの表現で統一させていただきます。</p>